

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社
コード番号 5440 URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）坂本 尚吾
問合せ先責任者 （役職名）執行役員本社経営企画部長 （氏名）増田 晶紀 TEL 06-6346-5221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	232,698	△3.2	13,442	38.6	12,659	28.0	7,943	△13.1
2025年3月期第3四半期	240,399	1.2	9,698	△34.2	9,892	△33.4	9,135	△21.0

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 6,447百万円（△16.2％） 2025年3月期第3四半期 7,695百万円（△52.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	182.76	—
2025年3月期第3四半期	210.20	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	354,685	211,635	57.8
2025年3月期	352,828	209,157	57.5

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 205,173百万円 2025年3月期 202,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00
2026年3月期	—	30.00	—		
2026年3月期（予想）				60.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	317,000	△1.8	17,000	10.9	16,000	1.6	10,500	△2.7	241.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	44,898,730株	2025年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,439,803株	2025年3月期	1,439,755株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	43,458,943株	2025年3月期3Q	43,458,975株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策や地政学的リスクの影響を受けながらも、概ね堅調に推移しました。日本経済は、緩やかな回復基調が続きましたが、米国の通商政策や物価上昇の影響による景気の下落リスクには留意が必要な状況です。こうした中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は前年同期対比7,701百万円（3.2%）減収の232,698百万円、連結営業利益は同3,744百万円（38.6%）増益の13,442百万円、連結経常利益は同2,767百万円（28.0%）増益の12,659百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同1,192百万円（13.1%）減益の7,943百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

国内の鋼材需要は、真夏の猛暑の影響は脱したもの、建設・物流現場での人手不足や資材価格等の上昇による工期の遅れや長期化、計画の見直しが散見される状況が続いたことから低調に推移しました。こうした中、当社の当第3四半期連結累計期間の製品出荷量は前年同期対比4.7万トン減の104.4万トンとなりました。原材料の鉄スクラップ価格は、前年同期対比ではトン当たり5.8千円（11.9%）下落したものの、第3四半期以降は円安の影響による輸出価格の上昇を受けて、国内でも上昇基調で推移しました。一方、製品価格は、需要が低迷する中で価格の維持・引き上げに努めましたが、同8.2千円（7.9%）下落し、売買価格差（製品価格と原材料価格の差）は同2.4千円（4.4%）縮小しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比13,343百万円（12.3%）減収の95,247百万円、営業利益は同3,108百万円（24.7%）減益の9,484百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門については、ベトナム及び北米（米国・カナダ）にて鉄鋼事業を展開しており、いずれも決算期は12月です。

ベトナムにおいては、競争環境は依然として厳しいものの、政府主導のインフラ投資を軸に旺盛な鉄鋼需要が継続する中、中間期に続き全拠点で営業黒字を計上しました。

北米においては、米国拠点の操業は日本の技術支援等により改善に向かいつつあり、業績についても、堅調な需要の下、営業赤字幅が前年同期に比べ大幅に縮小しました。カナダ拠点では、細物鉄筋など利益率の高い製品の販売に注力し、前年同期対比増益となりました。

以上の結果、売上高は前年同期対比6,331百万円（5.1%）増収の129,706百万円、営業利益は同7,017百万円増益（前年同期は2,617百万円の営業損失）の4,400百万円となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、医療廃棄物処理における厳しい競合環境が続く中、難処理廃棄物案件の獲得等によりやや持ち直したものの、売上高は前年同期対比503百万円（10.6%）減収の4,263百万円、営業利益は同374百万円（69.5%）減益の164百万円となりました。

④ その他の事業

当事業部門については、ベトナムでの港湾事業や国内及びベトナムでの鋳物事業などを行っています。売上高は前年同期対比185百万円（5.1%）減収の3,482百万円となりましたが、営業利益は同26百万円（8.3%）増益の332百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて172百万円（0.1%）減少し、211,125百万円となりました。これは、電子記録債権が6,739百万円、有価証券が5,000百万円、その他流動資産が1,751百万円増加し、現金及び預金が11,889百万円、商品及び製品が2,195百万円、受取手形が241百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,029百万円（1.4%）増加し、143,560百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が5,584百万円、建物及び構築物が1,246百万円、投資有価証券が643百万円増加した一方、その他有形固定資産が4,792百万円、繰延税金資産が571百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,857百万円（0.5%）増加し、354,685百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3,002百万円（2.9%）増加し、106,261百万円となりました。これは、1年内償還予定の社債が10,000百万円、電子記録債務が3,088百万円、支払手形及び買掛金が2,504百万円増加し、短期借入金が7,819百万円、その他流動負債が2,687百万円、未払法人税等が2,410百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3,623百万円（9.0%）減少し、36,788百万円となりました。これは、長期借入金が3,435百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて621百万円（0.4%）減少し、143,050百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2,478百万円（1.2%）増加し、211,635百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を7,943百万円計上し、その他有価証券評価差額金が431百万円増加した一方で、利益剰余金の配当により3,911百万円、為替換算調整勘定が2,037百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.5%から、57.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期連結会計期間の国内鉄鋼事業については、建設用鋼材需要の増加が期待しづらい一方、鉄スクラップ価格は為替影響などにより上昇基調で推移し、厳しい状況が続きますが、製品価格の維持・引き上げ、コスト削減等により想定通りの利益を確保する見通しです。

海外鉄鋼事業については、概ね想定通りの業績となる見通しです。ベトナムではインフラ向けのプロジェクト案件を中心に堅調な需要が続いており、南北ともに計画通りの業績を計上する見込みです。北米においても事業環境は良好であり、米国拠点については通期では赤字が残るものの下期は黒字を確保する見通しです。カナダ拠点は堅調な業績を見込んでいます。

環境リサイクル事業については、引き続きアスベストなどの難処理廃棄物案件の獲得に注力し、収益の回復を目指します。

通期の業績予想については、足元の状況に鑑み、2025年10月31日の「2026年3月期 第2四半期決算短信」で公表した通期の業績予想を以下の通り修正いたします。配当予想の変更はありません。

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	323,000	17,000	16,000	10,500	241.61
今回修正予想 (B)	317,000	17,000	16,000	10,500	241.61
増減額 (B-A)	△6,000	—	—	—	
増減率 (%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	322,849	15,332	15,745	10,791	248.30

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,495	52,606
受取手形	257	17
売掛金	53,371	53,387
電子記録債権	18,011	24,750
有価証券	—	5,000
商品及び製品	37,361	35,166
原材料及び貯蔵品	31,220	31,856
その他	7,025	8,775
貸倒引当金	△442	△431
流動資産合計	211,297	211,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,501	22,747
機械装置及び運搬具（純額）	38,365	43,949
土地	32,161	32,575
その他（純額）	17,712	12,920
有形固定資産合計	109,738	112,190
無形固定資産		
のれん	702	601
その他	2,379	2,295
無形固定資産合計	3,081	2,896
投資その他の資産		
投資有価証券	17,526	18,170
長期貸付金	150	13
退職給付に係る資産	6,133	6,292
繰延税金資産	2,889	2,318
その他	2,050	1,716
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	28,712	28,474
固定資産合計	141,531	143,560
資産合計	352,828	354,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,374	23,878
電子記録債務	5,538	8,626
短期借入金	50,369	42,550
1年内返済予定の長期借入金	5,128	5,006
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	3,267	857
賞与引当金	1,059	1,506
その他	16,525	13,838
流動負債合計	103,259	106,261
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	18,053	14,617
繰延税金負債	4,246	4,274
再評価に係る繰延税金負債	2,463	2,463
退職給付に係る負債	3,996	3,908
その他	1,653	1,525
固定負債合計	40,411	36,788
負債合計	143,671	143,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	19,621	19,595
利益剰余金	142,043	146,053
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	178,479	182,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,171	3,602
繰延ヘッジ損益	120	41
土地再評価差額金	4,498	4,520
為替換算調整勘定	12,541	10,505
退職給付に係る調整累計額	4,179	4,043
その他の包括利益累計額合計	24,509	22,710
非支配株主持分	6,169	6,462
純資産合計	209,157	211,635
負債純資産合計	352,828	354,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	240,399	232,698
売上原価	213,428	202,422
売上総利益	26,970	30,276
販売費及び一般管理費	17,272	16,834
営業利益	9,698	13,442
営業外収益		
受取利息	698	558
受取配当金	332	315
持分法による投資利益	869	237
その他	501	551
営業外収益合計	2,400	1,661
営業外費用		
支払利息	2,051	1,841
為替差損	60	455
その他	95	148
営業外費用合計	2,206	2,444
経常利益	9,892	12,659
特別利益		
固定資産除売却益	32	91
受取保険金	2,760	13
助成金収入	714	—
特別利益合計	3,505	104
特別損失		
固定資産除売却損	184	211
事故関連損失	66	—
減損損失	—	146
商品廃棄損	—	61
その他	10	3
特別損失合計	260	421
税金等調整前四半期純利益	13,137	12,342
法人税等	4,243	3,524
四半期純利益	8,894	8,818
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△241	875
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,135	7,943

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	8,894	8,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△824	431
繰延ヘッジ損益	△73	△81
為替換算調整勘定	△194	△2,585
退職給付に係る調整額	△109	△136
その他の包括利益合計	△1,199	△2,371
四半期包括利益	7,695	6,447
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,963	6,123
非支配株主に係る四半期包括利益	△268	324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサ イクル 事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	108,590	123,375	4,766	236,731	3,668	—	240,399
外部顧客への売上高	108,590	123,375	4,766	236,731	3,668	—	240,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	78	778	859	781	△1,640	—
計	108,592	123,454	5,544	237,590	4,449	△1,640	240,399
セグメント利益又は損失（△）	12,592	△2,617	538	10,514	307	△1,122	9,698

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益又は損失（△）」の調整額△1,122百万円には、セグメント間取引消去84百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,207百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益又は損失（△）」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサ イクル 事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	95,247	129,706	4,263	229,216	3,482	—	232,698
外部顧客への売上高	95,247	129,706	4,263	229,216	3,482	—	232,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	48	368	421	610	△1,031	—
計	95,251	129,754	4,631	229,637	4,092	△1,031	232,698
セグメント利益	9,484	4,400	164	14,049	332	△939	13,442

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益」の調整額△939百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△965百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、倉庫設備について売却の意思決定をしたことに伴い、「国内鉄鋼事業」において、固定資産に係る減損損失を146百万円計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	6,482百万円	5,837百万円
のれんの償却額	87百万円	82百万円